OpenRTM-aist (Java) - バグ #4483

マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。

2018/03/16 17:35 - katami

ステータス:	新規	**開始日:**	2018/03/16
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	katami	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:	RELEASE_1_2_0		

説明

RTSEからC++のコンポーネントを起動すると「FAILED to create taget RTC」が表示されてRTCが起動できない。
C++のrtcdをスレーブで起動しているが、add_slave_managerが呼び出されていない。

履歴

#1 - 2018/03/20 13:56 - katami

原因

c++のrtcdがマスターとして起動してしまう。

Java版のrtcdをスタートメニューから起動する場合、作業フォルダーは以下である。

```
"C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\"
```

このフォルダーには、c++版のrtcdをマスターとして起動するための「rtcd.bat」がある。

```
@call set omni_root=%OMNI_ROOT%
@set PATH=%OMNI_ROOT%\bin\x86_win32\;%PATH%
@%RTM_VC_VERSION%\rtcd.exe -d -f %RTM_VC_VERSION%\rtc.conf
```

そのため、Java版のrtcdで、「cmd /c rtcd」 と実行するとこのバッチファイルが起動して、c++版のrtcdがマスターとして起動してしまう。

```
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin>where rtcd
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\rtcd.bat
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\vc141\rtcd.exe
```

c++のrtcdが途中でシャットダウンしてしまう。

javaのrtcからC++のrtcdを起動するする際、パラメータのmanager.shutdown_autoをYESで起動していた。
manager.shutdown_autoは、一定時間ごとに調べ、RTCがない場合には、マネージャ
およびプロセスをシャットダウンするパラメータである。YESの場合、RTCが
一つもなければ、マネージャおよびプロセスは自動的にシャットダウンされる。

manager.shutdown_auto

#2 - 2018/03/27 16:13 - katami

- 担当者 を katami にセット

- 対象バージョン を RELEASE_1_2_0 にセット

- 進捗率 を 0 から 100 に変更